令和６年度

北海道教育大学大学院教育学研究科入学試験問題

（現職教員選抜後期募集）

高度教職実践専攻　高度教職実践専修

「小論文」

問題用紙

＜諸注意＞

1　試験監督者から「解答はじめ」の指示があるまでは、問題冊子を開かないこと。

2　問題は「Ⅰ　共通問題」と「Ⅱ　選択問題」からなっている。

3　「Ⅰ　共通問題」は受験者全員が解答すること。

4　「Ⅱ　選択問題」は以下の四つの問題から一つを選択し解答すること。

問題 A
問題 B
問題 C
問題 D
} A～Dのうち一つを選択

5　解答は別紙の解答用紙に記入すること。

6　試験終了後、解答用紙（２枚）のみを提出すること。

令和６年度　北海道教育大学大学院教育学研究科入学試験問題
（現職教員選抜後期募集）

「小論文」（１／５）　　高度教職実践専攻　高度教職実践専修

Ⅰ　共通問題

中央教育審議会答申「『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について～『新たな教師の学びの姿』の実現と、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成～」（令和４年12月19日）では、教職生活を通じた「新たな教師の学びの姿」の実現の具体的な取組の方向性が示された。

このことを踏まえ、あなたが考える「新たな教師の学びの姿」とはどのような姿かを記述しなさい。

また、その実現のために自分自身、どのようなことに取り組んでいくか、あなたの考えを記述しなさい。

なお、字数は600字～800字とする。

（配点１００点）

令和６年度　北海道教育大学大学院教育学研究科入学試験問題
（現職教員選抜後期募集）

「小論文」（２／５）　　高度教職実践専攻　高度教職実践専修

Ⅱ 選択問題（問題Ａ ～ 問題Ｄ のうち一つを選択）

問題 Ａ

平成29・30・31年改訂の学習指導要領の前文では、「社会に開かれた教育課程」について、以下のように示されている。

「教育課程を通して、これからの時代に求められる教育を実現していくためには、よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという理念を学校と社会とが共有し、それぞれの学校において、必要な学習内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを教育課程において明確にしながら、社会との連携及び協働によりその実現を図っていくという、社会に開かれた教育課程の実現が重要となる。」

そこで、「社会に開かれた教育課程」の実現により、学校教育にはどのような変化が生まれると考えるかを記述しなさい。

また、その実現に向けてあなたはどのように取り組むか、校種や学年等を設定して記述しなさい。

なお、字数は600字～800字とする。

（配点１００点）

令和６年度　北海道教育大学大学院教育学研究科入学試験問題
（現職教員選抜後期募集）

「小論文」（３／５）　　高度教職実践専攻　高度教職実践専修

Ⅱ 選択問題（問題Ａ ～ 問題Ｄ のうち一つを選択）

問題 Ｂ

平成29・30年改訂の小学校、中学校の学習指導要領「総合的な学習の時間」の目標では、「探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力」の育成が示されている。

また、平成31年改訂の高等学校の学習指導要領「総合的な探究の時間」の目標では、「探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力」の育成が示されている。

これらの目標の下線部の「見方・考え方」とは、どのようなものであるか、校種を示して記述しなさい。

また、「探究的な見方・考え方」や「探究の見方・考え方」を生かして、目指す資質・能力を育成するための手立てについて具体的に記述しなさい。その際、目指す資質・能力を具体的に提示して記述しなさい。

なお、字数は600字～800字とする。

（配点１００点）

令和６年度　北海道教育大学大学院教育学研究科入学試験問題
（現職教員選抜後期募集）

「小論文」（４／５）　　高度教職実践専攻　高度教職実践専修

Ⅱ 選択問題（問題Ａ ～ 問題Ｄ のうち一つを選択）

問題 Ｃ

近年、日本における自殺者の総数は、減少傾向にある。しかし、自殺した児童生徒数は、増加傾向を示しており、学校における自殺予防教育のさらなる充実が求められている。

あなたは、自殺予防教育にどのように取り組むか、①「早期の問題認識（心の危機に気づく力）」、②「援助的希求態度の促進（相談する力）」の２点について、あなたの考えを記述しなさい。

なお、字数は600字～800字とする。

（配点１００点）

令和６年度　北海道教育大学大学院教育学研究科入学試験問題
（現職教員選抜後期募集）

「小論文」（５／５）　　高度教職実践専攻　高度教職実践専修

Ⅱ 選択問題（問題Ａ ～ 問題Ｄ のうち一つを選択）

問題 Ｄ

文部科学省の「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果（令和４年）」において、学級担任等が回答した内容から、「学習面又は行動面で著しい困難を示す」とされた児童生徒数の割合は、小中学校で8.8%であった。

通常学級にも特別な教育支援を必要とする児童生徒が在籍する、というこの調査結果を受けて、特別な教育支援を必要とする児童生徒への指導や支援の在り方について、どのようなことが大切か、①「校内支援体制の充実」、②「教育活動の工夫」の２点について、あなたの考えを記述しなさい。

なお、字数は600字から800字とする。

（配点１００点）

令和６年度 北海道教育大学大学院教育学研究科入学試験解答用紙
（現職教員選抜後期募集）

「小論文」（1／2）

Ⅰ 共通問題

高度教職実践専攻 高度教職実践専修	得 点　　点
受験番号(　　)	

10　20　30

10

20
600字

25

800字

「小論文」(2/2)

高度教職実践専攻 高度教職実践専修	得 点　　点
受験番号(　　)	

Ⅱ 選択問題　選択した問題に○を付けなさい。

〔 A・B・C・D 〕

10　20　30

10

20
600字

25

800字